ONKYO®

アンプ内蔵サブウーファー

SKW-10

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

オーディオ機器の正しい使いかた

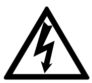
オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

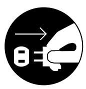
絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

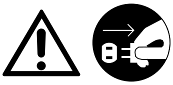




●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない



電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

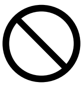


分解禁止

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

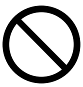
■ 100V以外の電圧で使用しない



● 本機を使用できるのは日本国内のみです。

● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない



● 本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。

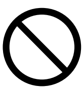
- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、布団の上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない



水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



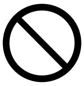
水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

SKW-10(SN 29343318A) 3 02.5.14, 1:17 PM

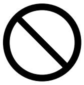
⚠警告

■ 水の入った容器を置かない



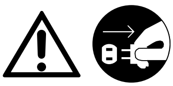
● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない



● 本機の通風孔から金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら



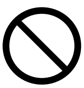
電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない



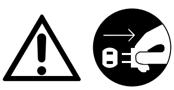
● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない



電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない



接触禁止

● 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

SKW-10(SN 29343318A) 4 02.5.14, 1:17 PM

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

SKW-10(SN 29343318A) 5 02.5.14, 1:17 PM

⚠注意

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■スピーカーコードについて

- スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

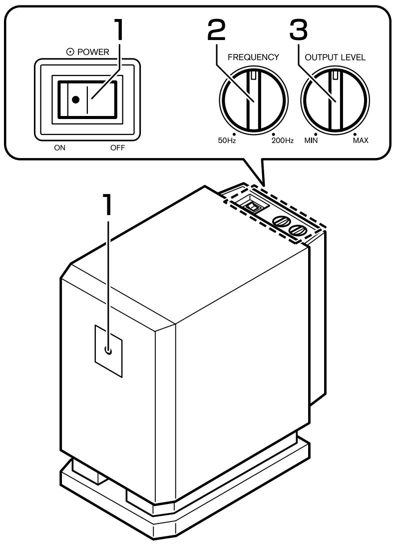
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

特長

■ 超低域再生専用アンプ内蔵サブウーファーシステム
■ カットオフフィルターを内蔵、お手持ちのシステムに本機を加えるだけで、雄大な低音再生が実現可能

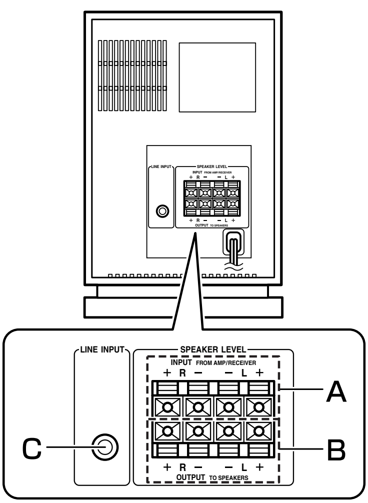
各部の名前と働き



1. 電源スイッチ(POWER)およびインジケーター
ON側に押すと電源が入り、インジケーターが点灯します。反対側を押すと電源が切れ、インジケーターも消灯します。

2. カットオフ周波数調整ツマミ(FREQUENCY)
高域をカットする周波数を変えるツマミです。組み合わせるスピーカーシステムに合わせて、50Hz～200Hzの範囲で連続的に変化できます。

3. 音量調整ツマミ(OUTPUT LEVEL)
サブウーファーの再生音量を調整するツマミです。



A. スピーカーレベル入力端子
(INPUT FROM AMP/RECEIVER)
アンプまたはレシーバーのスピーカー出力端子と接続する端子です。

B. スピーカーレベル出力端子
(OUTPUT TO SPEAKERS)
Aの端子に入力された音が出力されます。スピーカーの端子と接続します。

C. ローレベル入力端子 (LINE INPUT)
アンプなどのサブウーファー出力を接続する端子です。

接続のしかた

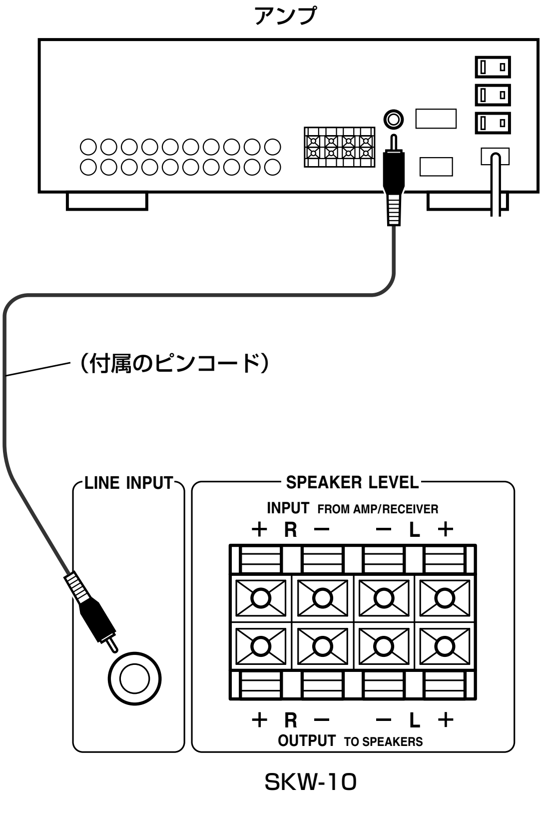
全ての接続が終わるまで本機および他の機器の電源は切っておいてください。

AVアンプとの組み合わせについて

サラウンド再生機能のついたアンプやレシーバーと組み合わせる場合は、必ずサブウーファープリアウト端子(SUB WOOFER PREOUT)または相当する端子から付属の接続用ピンコードで本機に接続してください。スピーカーコードを使って本機を接続すると、アンプやレシーバーの設定によっては十分な低域がでないことがあります。詳しい接続方法はお手持ちのアンプやレシーバーの取扱説明書をご覧ください。

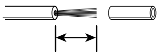
■一般的なシステムに組み合わせる場合

サブウーファー(スーパーウーファー)プリアウト端子または相当する端子のあるアンプから接続する場合

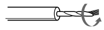


■スピーカー端子から接続する場合

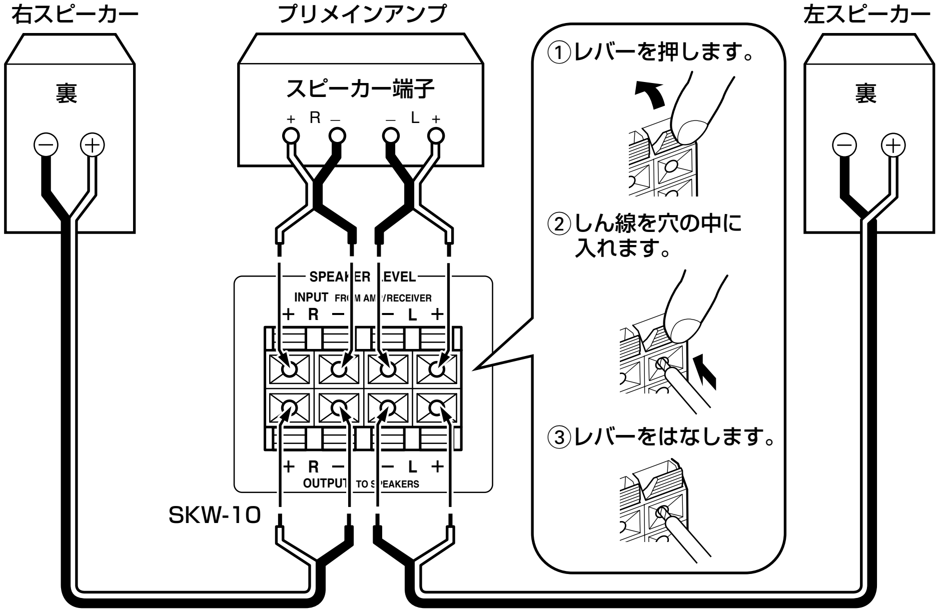
①スピーカーコードのビニールカバーの先を外します。



②しん線をよじります。

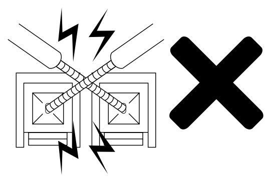


1. スピーカーコードを使用して、本機のスピーカーレベル入力端子とアンプのスピーカー端子を接続します。
2. 左右のスピーカーは本機のスピーカーレベル出力端子に接続します。



ご注意

- スピーカーコードの十/ー、L（左）R（右）を間違えないように確実に接続してください。十/ーを間違えますと低音感が損なわれます。
- 本機のスピーカー出力端子にスピーカーを接続する場合は、本機のスピーカーレベル入力端子に接続するアンプの表示より低いインピーダンスのスピーカーをつなぐと故障の原因となります。
- スピーカーコードの接続は、しん線部が隣の端子や金属部に触れていないかよく確認してください。接触したまま動作させるとアンプの故障の原因となります。
- BTL接続のアンプはご使用にならないでください。アンプ、本機とも故障の原因となります。一般のアンプはBTLではありません。詳しくはご使用になるアンプの取扱説明書をご参照ください。

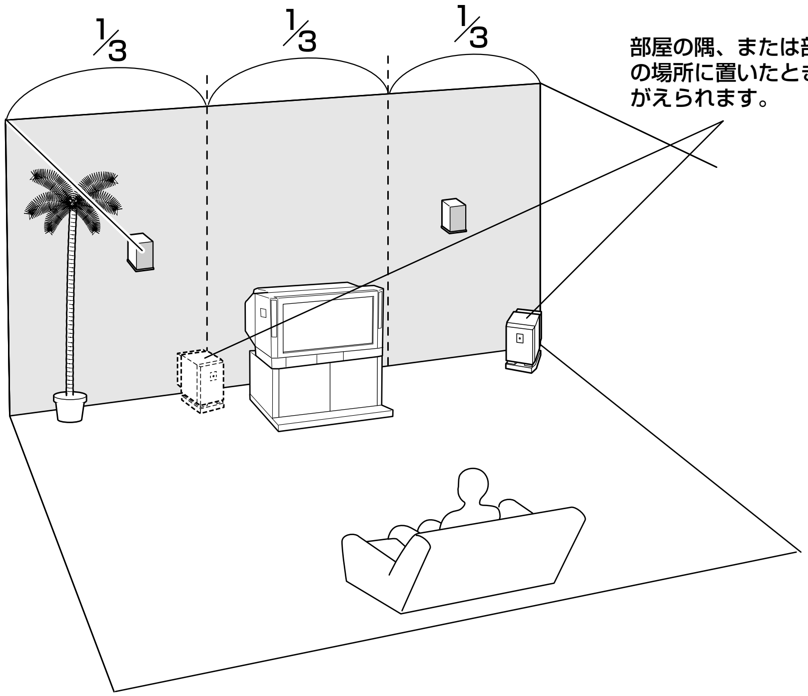


設置について

再生される低音の質や量はサブウーファーの置き場所によって大きく変わります。また、部屋の形状やどの位置で聞くかによっても変わります。
置き場所を決める方法として以下の方法をおすすめします。

- 質の良い低音が入った映画または音楽ソースを再生する。
- 本機を部屋の色々な場所に置いてみる。
- 置き場所により様々な鳴り方をするので、いつも聞く位置でもっともしっかりした低音が再生できる場所を選ぶ。

下図は一般的な設置例です。



ご注意

- 本機のキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光の当たる所や冷暖房機具の近く、浴室や台所の近くなど、湿気の多いところは避けてください。
- 振動や傾斜のないしっかりとしたところに置いてください。
- 本機には滑り止めスペーサーが4個付属しています。フローリングの部屋に設置する場合は、このスペーサーを底面4隅に張り付けますとキズを防止するとともに、安定して置くことができます。ただし、設置する場所によりスペーサーの跡が残ることがありますのでご注意ください。
- レコードプレーヤーやCDプレーヤーのそばで本機を使用したとき、ハウリングや音飛び現象が起こることがあります。そのときはプレーヤーと本機の距離を離すか、本機の音量を下げてお使いください。

サブウーファーの効果について

お手持ちのスピーカーに本機を付け加えるだけで、低音域の再生帯域を広げることができます。
本機を設置する部屋の状況や組み合わせるスピーカーの種類に応じて、カットオフ周波数と音量の調整を行ってください。

■カットオフ周波数

本機は、組み合わせるスピーカーと音質的にスムースにつなぐために不必要な高域をカットするフィルター（カットオフフィルター）を内蔵しています。組み合わせるスピーカーに合わせて、カットする周波数（カットオフ周波数）を50～200Hzの間で自由に選ぶことができます。組み合わせるスピーカーが大きな場合は、スピーカーが低い周波数まで再生できるため、カットオフ周波数を低く設定してください。小型のスピーカーの場合は、サブウーファーで高い周波数まで再生させるために、カットオフ周波数を高く設定してください。下のイメージ図を参考に、組み合わせるスピーカーと本機がバランス良く聞こえるカットオフ周波数を選んでください。

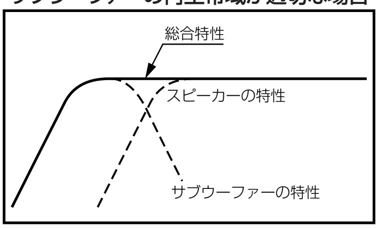
■サブウーファーの音量調整

スピーカーレベル入力端子を使用した場合、音量調整ツマミの中心付近で一般的なスピーカーと音量バランスが取れるようになっています。
ローレベル入力端子を使用してアンプと直接接続した場合は組み合わせるアンプに合わせて設定してください。また、超低音は刺激が少ないためつい音量を上げすぎる可能性があります。少し控えめ程度がちょうど良いバランスになります。

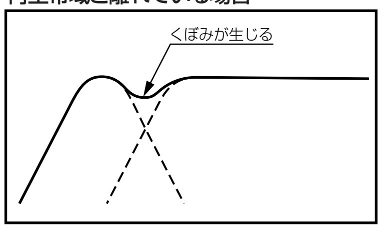
ご注意

アンプのボリュームを常識を超えるほど大きくすると故障の原因になりますのでご注意ください。また、接続するアンプによってはスイッチ類を切り換えるとき、ノイズを発生することがあります。このノイズはスピーカーを破損する原因にもなりますので、スイッチ類を操作するときは、アンプのボリュームを小さくしてから切り換えるようにしてください。

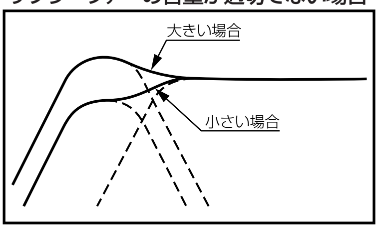
サブウーファーの再生帯域が適切な場合



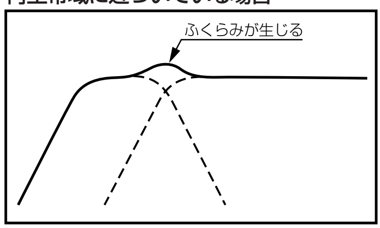
サブウーファーの再生帯域がスピーカーの再生帯域と離れている場合



サブウーファーの音量が適切でない場合

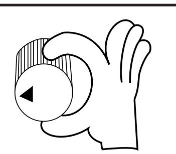


サブウーファーの再生帯域がスピーカーの再生帯域に近づいている場合



♪音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にしましょう。
特に静かな夜間には音量を下げてききましょう。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



SKW-10(SN 29343318A) 11 02.5.14, 1:17 PM

取扱いについて

■ お手入れについて

本機の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

■ カラーテレビやパソコンとの近接使用について

一般にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本機は（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

ご注意

テレビなどの近くに置く場合、テレビから出ている電磁波の影響で本機の電源を切っていてもスピーカーから雑音を発生することがあります。この雑音が気になる場合は、テレビからさらにスピーカーを離してご使用ください。

■ 取り扱い上のご注意

本機は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発信器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

■ 使用上のご注意

アンプのトーンコントロールやグラフィックイコライザー等で低域を極端にブースト（増強）したり、低域が異常に強調された特殊なソースを再生した場合、本来の信号以外に異常な音が発生する場合があります。これはスピーカーユニットの限界を超えた時に発生する「ばた付き」が起こっているためで、故障ではありません。
しかし、このような状態でご使用になると、スピーカーユニット破損の原因となりますので音量を下げてご使用ください。

困ったときは

ローレベル入力端子を使って接続している場合

電源が入らない

- 電源は入ってますか？POWERインジケーターは点灯していますか？
- 一度電源プラグをコンセントから抜き5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

音が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- 本機のボリュームが最小（MIN）になっていませんか？
- ヘッドホンを接続していると本機からの音は出ません。
- 接続したレシーバーやアンプ側はサブウーファーが働くように設定されていますか？

音が良くない/雑音が入る/低音が出にくい

- カットオフ周波数が低すぎませんか？カットオフ周波数を下げると超低音のみ再生されますので、聞こえにくくなります。
  組み合わせるスピーカーに合わせて調整してください。
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 低音が入っていないソースを再生している場合、本機から出る音が小さく感じます。
  低音が入っているソースを再生してください。

テレビ映像の色がにじむ

- テレビからスピーカーを離してください。

スピーカーレベル入力端子を使って接続している場合

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

音が出ない

- 電源は入ってますか？POWERインジケーターは点灯していますか？
- スピーカーケーブルが正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？
- 本機のボリュームが最小（MIN）になっていませんか？
- ヘッドホンを接続していると本機からの音は出ません。

音が良くない/雑音が入る/低音が出にくい

- カットオフ周波数が低すぎませんか？カットオフ周波数を下げると超低音のみ再生されますので、聞こえにくくなります。
  組み合わせるスピーカーに合わせて調整してください。
- スピーカーコードの+/-が正しく接続されているかご確認ください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 低音が入っていないソースを再生している場合、本機から出る音が小さく感じます。
  低音が入っているソースを再生してください。

テレビ映像の色がにじむ

- テレビからスピーカーを離してください。

主な仕様

形式	アンプ内蔵 Jドライブ型	**使用スピーカー**	16cmOMFウーファー
用途	超低域再生専用	**電源**	AC100V(50/60Hz)
定格周波数範囲	35Hz〜200Hz	**消費電力**	30W
クロスオーバー周波数	50Hz〜200Hz(可変)	**外形寸法(W×H×D)**	190×299×312mm
実用最大出力	40W（4Ω・EIAJ）	**質量**	7.6kg
入力インピーダンス	スピーカー入力：4.7kΩ ライン入力：65kΩ	**付属品**	接続用ピンコード（1） スペーサー（4） 取扱説明書（本書1） 保証書（1）
入力感度	スピーカー入力：1.8V ライン入力：100mV		
		その他	防磁対応（EIAJ）

※ 仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにご依頼ください。
詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

修理を依頼される時は、下の事項を販売店または当社サービスステーションまでお知らせください。

▶ お 名 前

▶ お 電 話 番 号

▶ ご 住 所

▶ 製 品 名 SKW-10

▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お客様 ご相談窓口	**カスタマーセンター** 受付 9:30〜17:30 （土日祝、弊社休日除く） ■**カタログのご請求、製品についてのご相談** ＊e-mail： ホームシアター/オーディオ製品→customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品 →mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL：ナビダイヤル 0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） または072-831-8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。 ＊FAX：072-831-8124 〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修理窓口 修理のご依頼は取扱説明書の「困ったときは.」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

北海道地区
札幌サービスステーション
TEL 011-747-6612 FAX 011-747-6619
〒001-0028 札幌市北区北28条西5-1-28
トーシン北28条ビル

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区
仙台サービスステーション
TEL 022-297-0571 FAX 022-257-7330
〒984-0051 仙台市若林区新寺4-9-5
第二丸昌ビル 1F

茨城・栃木地区
宇都宮サービスステーション
TEL 028-634-4307 FAX 028-634-4308
〒320-0831 栃木県宇都宮市新町2-7-7

群馬・埼玉・新潟地区
大宮サービスステーション
TEL 048-651-8612 FAX 048-651-9137
〒330-0034 埼玉県さいたま市土呂町2-29-2
高安ビル 1F

千葉・東京（23区）地区
東京サービスセンター
TEL 03-3861-8121 FAX 03-3861-8124
〒111-0054 東京都台東区鳥越1-2-3
ハマスエビル

東京（23区を除く）・山梨・長野地区
八王子サービスステーション
TEL 0426-32-8030 FAX 0426-36-9312
〒192-0914 東京都八王子市片倉町358番地

神奈川地区
横浜サービスステーション
TEL 045-322-9342 FAX 045-312-6603
〒220-0072 横浜市西区浅間町1-13
共益ビル5F

岐阜・静岡・愛知・三重地区
名古屋サービスステーション
TEL 052-772-1229 FAX 052-772-1331
〒465-0013 名古屋市名東区社口1丁目1001番

富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区
大阪サービスセンター
TEL 06-6576-7620 FAX 06-6576-7604
〒552-0013 大阪市港区福崎3丁目1番148号

鳥取・島根・岡山・広島・山口（下関を除く）地区
広島サービスステーション
TEL 082-262-3315 FAX 082-262-6571
〒732-0057 広島市東区二葉の里2-8-28

徳島・香川・愛媛・高知地区
高松サービスステーション
TEL 087-868-5662 FAX 087-868-5672
〒760-0079 高松市松縄町44-8 西原ビル1F

山口（下関）・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区
福岡サービスステーション
TEL 092-418-1357 FAX 092-418-1358
〒812-0006 福岡市博多区上牟田3-8-19
みなみビル202

オンキヨーサービス認定店

静岡サービス認定店
TEL 0543-46-6502 FAX 0543-46-6502
〒424-0063 静岡県清水市能島171-15

北陸サービス認定店
TEL 0776-27-1868 FAX 0776-27-1768
〒910-0001 福井県福井市大願寺3-5-9

岡山サービス認定店
TEL 086-274-5840 FAX 086-274-5840
〒703-8271 岡山県岡山市円山13

熊本サービス認定店
TEL 096-364-1475 FAX 096-364-1475
〒862-0970 熊本県熊本市渡鹿7-15-18

沖縄サービス認定店
TEL 098-876-9195 FAX 098-876-9195
〒901-2104 沖縄県浦添市当山558番地の8
キャッスルサイド浦添102号

2001年12月現在 お客様相談窓口、修理窓口の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

G -1

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE http://www.onkyo.co.jp/

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。

●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 06(6576)7620

SN 29343318A

G0205-2